

《提案型協働事業 検証シート》

協働事業の概要	事業名称	viva！アマのマナビバ！ みんなのサマーセミナー		
	団体名	みんなのサマーセミナー実行委員会	市所管課	協働・男女参画課、社会教育課
	事業の趣旨・内容	夏休みに、市民、民間、行政と一緒に「学び」を提供しあう場をつくり、まちの人が先生となり、学び教え合う『学校ごっこ』を開催する。普段、教える側にならない人が教える側になることで、さらに自身の学びを深めることができ、講座の提供主体が集まる事で新たな連携やつながりが生まれることが期待できる。また、一堂に多くの講座が開催されることで、受講側にとっては普段出会わない学びに出会う等、新たな学びを知る・気付くきっかけとなることを目的とする。さらに、朝礼やお昼休み等、『学校ごっこ』として参加者が楽しめる企画を実施する。		
	協働における行政の役割	行政各課の巻き込み、実行委員会への参画、広報協力・問い合わせ対応、当日運営、振り返り及び次年度検討		
協働における市民の役割	関係団体の巻き込み、企画調整、実行委員会の運営、広報活動・取材対応、当日運営、振り返り及び次年度検討			

■ 市民と行政のこれまでの動き ■

年月	できごと
平成26年 7月～	・愛知サマーセミナー見学、実行委員会立ち上げに向けた調整
平成27年 1月	・団体と市所管課の事前打ち合わせ(1/15、2/13)
平成27年 5月	・補助金交付決定・協定書締結
平成27年 8月	・みんなのサマーセミナー実施
平成28年 4月	・行政提案型協働事業として継続実施
平成28年 8月	・みんなのサマーセミナー2016実施
平成28年 9月～	・継続事業化に向けて調整

■ 評価会議における意見など ■

1	<p>・まちのだれもが先生になれるとはいえ、講座の質を担保していくならばある程度のレベルは必要。講座数を減らしたり、授業は先生の責任で行う(魅力のある講座内容、授業参加者数)など、工夫をしてはどうか。また、実行委員会が注力する企画型の講座と公募型の講座を設けてはどうか。講座の管理体制についても来年度以降に活かしてほしい。</p>
2	<p>・誰もが気軽に来れるよう周知に力を入れてほしい。また、スクールバスの運行やサテライト校の開設など多くの人が参加できるしくみを考えてはどうか。</p>
3	<p>・3年目を迎える来年度は、目的をもって実行すると効果的。支え合い・助け合いや生涯学習の場として地域へ還元することができればよい。規模が大きくなれば小さな単位で動くなど運営形態も変えていく必要があるので検討してほしい。</p>
4	<p>・資金も集まってきているので、継続も問題ない。先生と生徒の相乗効果も出ているのでこれからも継続してやってほしい。</p>

■ 所管課意見 ■

評価会議からの提案事項	意見
<p>・市が事務局のサポートを行うことで事業が円滑に進むことはよかったが、2年目は市制100周年と重なり行政色が強かった。行政がどれだけ後方に回るかが大切であり、協働の役割分担の確立がポイントになる。 ・協働事業であれば市職員の参加についても業務なのかボランティア参加なのか整理が必要。</p>	<p>・実行委員と行政がお互いの得意を活かして役割分担を決め協働事業として実施してきたものであり、行政は後方に回ったりサポートするだけではなく、担う役割に応じて、協働の相手方として、主体的に事業に参画している。 ・市職員の関わり方として、担当所管課以外はボランティアとして参画すると整理はできている。(ただし、市職員ボランティアについても、サマセミの主目的である「講座」にも参画できるように配慮している)</p>

■ 市 総括 ■

<p>本事業では市も実行委員会に参画し、事業実施から終了後の検討まで実行委員会と市との両輪で実施する手法をとり、協働の成果を十分に発揮していると考えられる。事業の目的である「学び」を提供しあう場づくりについては、講座数や参加者数など一定の効果がみられる。市と実行委員会との協働のバランスをとりながら、今後も継続した事業の取組を期待したい。</p>

以上